

# 教材配当例と検討の観点

## 教材配当例 (音楽Ⅰ)

学期	題材と目標	ONGAKUをはじめよう	歌唱	器楽	創作	鑑賞
一学期 (4~7月)	<b>楽しく歌ったり、簡単なリズムやメロディーをつくらう</b> 歌唱や創作の諸活動を通して、歌唱技能の基本や、簡単なリズムのつくり方を学び、音楽の楽しさを味わう。	・リズムに乗って ・メロディーに乗って	・翼をください ・花は咲く ・Daydream Believer		・言葉はリズムに乗って ・言葉はメロディーに乗って	
	<b>日本の音楽</b> 歌唱・器楽・鑑賞の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを感じ取る。		・相馬盆唄 ・谷茶前 ・ホーハイ節	・あゝ人生に涙あり ・ねぶた囃子 ・お江戸日本橋		・京鹿子娘道成寺 ・新ざらし ・郷土の伝統音楽
	<b>合唱</b> 歌唱や鑑賞を通して様々な合唱音楽を体験し、その表現方法や良さを味わう。		・Amen ・夜のうた ・Come Again			・ディエス・イレ ・アヴェ・マリア
二学期 (9~12月)	<b>器楽</b> 器楽の実習を通して楽器の表現に親しみ、技能の伸長をはかるとともに、その特長を生かした表現の良さを味わう。			・ぐるぐるピアノ ・喜びの歌 ・きょうの料理 ・広い河の岸辺		・ブランデンブルク協奏曲第2番 ・ぐるりよぎ
	<b>世界の音楽</b> 音楽の諸活動を通して、世界の音楽の種類や特徴を理解し、その良さを味わう。	・リズムに乗って ・メロディーに乗って	・アリラン ・Sansa Kroma ・イパネマの娘		・メロディーはベースに乗って	・諸外国の音楽 ・アジア地域の諸民族の音楽
	<b>劇音楽</b> 劇や物語と音楽の結びつきを理解し、イメージをもって表現したり鑑賞したりする。	・ハーモニーに乗って	・乾杯の歌 ・オペラ座の怪人 ・Seasons of Love ・とびら開けて	・海の見える街	・メロディーはハーモニーに乗って	・椿姫
三学期 (1~3月)	<b>アンサンブル</b> 声や楽器を組み合わせさせて演奏したり、様々な音楽材を用いた創作を通して、それらに必要な技能を身につけイメージをもって表現する。		・Football Canon ・野菜の気持ち	・祭りのコラージュ ・She Loves You ・Beat Canon ・YOU CAN DO IT!	・Make Your Own Music!	
	<b>独唱</b> 歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、必要な技能を身につけ、イメージをもって表現したり、楽曲の価値を感じる。	・詩と音楽	・Caro mio ben ・小さな空 ・椰子の実			・冬の旅

## 教材配当例 (音楽Ⅱ)

学期	題材と目標	ONGAKUをはじめよう	歌唱	器楽	創作	鑑賞
一学期 (4~7月)	<b>表現方法を工夫して歌ったりアンサンブルする楽しさを体験しよう</b> 歌唱の諸活動を通して、表現を工夫したり、アンサンブルに広げる楽しさを味わう。	・さまざまな表現 ・音楽を表現するために	・上を向いて歩こう ・ふるさと ・マイ・ウェイ			
	<b>日本の音楽</b> 音楽の諸活動を通して、様々な日本の音楽に触れ、その良さや美しさを理解する。	・言葉と歌	・芭蕉布 ・早春賦 ・夏は来ぬ	・八木節パラフレーズ ・笑点のテーマ ・中国地方の子守歌	・詩「サーカス」を例に、音楽をつくってみよう	・能「船弁慶」 ・謡と囃子 ・筑前琵琶「那須与市」
	<b>合唱</b> 歌唱や鑑賞を通して合唱音楽に触れ、その表現方法の特長や良さを理解する。	・豊かな声を目指して ・言葉と歌	・Canone perpetuo ・Ave verum corpus ・殖生の宿 ・うたをうたうとき			・鳥の歌 ・マタイ受難曲
二学期 (9~12月)	<b>器楽</b> 表現や鑑賞を通して楽器に触れ、その演奏技能や鑑賞の能力を高めるとともに、その特長や音楽の文化的・歴史的背景を理解する。			・世界の車窓から ・「7つのやさしいカノン」から ・ブラジルの女		・王宮の花火の音楽 ・ヴァイオリン協奏曲 ・「映像」第1集 ・春の祭典
	<b>世界の音楽</b> 音楽の諸活動を通して、世界の音楽の種類や特徴を理解し、その良さを味わう。		・Aloha 'oe ・故郷の春 ・ヴォラーレ			
	<b>劇音楽の楽しみ</b> 劇や物語と音楽の関係を理解し、より豊かなイメージをもって表現したり鑑賞したりする。	・さまざまな表現	・Memory ・Joyful, Joyful ・Una furtiva lagrima		・第九の旋律を例に、大きな曲をつくろう	・愛の妙薬 ・交響曲第9番「合唱付き」
三学期 (1~3月)	<b>アンサンブル</b> 声や楽器を組み合わせさせて演奏したり、様々な音楽材を用いた創作を通して、様々な技能を身につけより豊かなイメージをもって表現する。		・In the Mood ・The Scat Calypso	・On The Beat! ・Don't Mind ・島人ぬ宝	・Make Your Own Music!	
	<b>独唱</b> 歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、様々な技能を身につけ、より豊かなイメージをもって表現したり、鑑賞を通して楽曲の価値を理解する。	・豊かな声を目指して ・さまざまな表現	・からたちの花 ・島へ ・La serenata ・Die Forelle			・ピアノ五重奏曲「ます」

## 検討の観点

選択・範囲・程度	学習指導要領との対応	・学習指導要領の示す目標、内容に対応し適切な教材を用意している。 ・「音楽を形づくっている要素」であるリズム、メロディー、ハーモニー、言葉、そして表現の創意工夫を主軸にした教材を用意している。 ・歌唱、器楽領域は、学習指導要領の示す目標、内容に対応した教材を十分に用意している。 ・創作領域は、音楽を形づくっている各要素を個別に取り上げ、それらを知覚、感受する学習がしやすいよう工夫している。 ・鑑賞領域は、中学での学習からの継続・発展を意識した内容になっている。 ・批評する活動をする際のポイントを解説した項目を用意している（「音楽を聴いて感じたことを自分の言葉で書いてみよう」）。 ・音楽の著作物などを尊重するためにどのような注意が必要かなど、著作権について学習できる項目を用意している。
	基礎的、基本的な内容の取扱い	・音楽の基礎となる要素を理解できる教材、楽譜の読み書きについて解説した教材を用意している。 ・基礎的な楽曲教材を用意している。 ・日本の音楽、アジア地域、諸外国の音楽、作曲家年表など、音楽文化を理解するための基礎的な資料を豊富に用意している。
	内容の公正さ	・楽曲教材は、古今東西の音楽をバランスよく取り扱っている。 ・歌唱、器楽、創作、鑑賞、日本の音楽、多様な音楽文化の理解など、バランスのとれた構成になるよう配慮している。
構成・配列	系統的、発展的構成相互の関連	・歌唱、器楽、鑑賞、創作と領域ごとにまとめた、シンプルでわかりやすい構成である。 ・関連性を持って楽曲教材が配列されている。 ・表現と鑑賞は相互に関連性をもたせている。 ・「ONGAKUをはじめよう/ふかめよう」と各楽曲、創作の内容は相互に関連性をもたせている。 ・関連性を意識した学習がしやすいよう、音楽史と鑑賞教材を紙面の上下に配置している。

構成・配列	説明文、注、資料と主たる記述の関連付け	・楽曲に関連付けて「memo」「point」「try」に分けて解説文を配置し、楽曲について理解しやすいよう配慮している。
	生徒が活動する際の配慮	・「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう、解説だけでなく実践のための短い譜例を配置するなど工夫している。 ・創作は、易しく小さな課題に一つずつ取り組んでいき、大きな曲作りができるような構成にし、創作経験の少ない生徒に配慮している。
表記・表現・体裁	表記・表現の工夫・配慮	・譜読みがしやすいよう、楽譜の五線や音符のサイズ、歌詞のフォントなどを工夫している。 ・「創作」は直接音符等を記入する欄を設け、生徒の自発的な学習を促すつくりになっている。
	判型の配慮	・「見やすい楽譜の大きさ」とのバランスに配慮した判型（A4変型）である。
	写真やイラスト、図版	・見やすく、生徒の興味・関心を高めるよう配慮した明るく鮮やかな配色である。 ・生徒の興味・関心を高めるよう、豊富な写真、イラストを用意している。
印刷・造本	印刷・造本	・目に優しい色の紙を使用している。 ・開きやすく、かつ堅牢な製本である。
	総合所見	・学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げながら、時代の変化に即した「生きる力」を育む、個性的で創造的な教科書を意図している。 ・音楽の基礎・基本を学ぶ出発点となる教材「ONGAKUをはじめよう/ふかめよう」を用意し、そこから表現・鑑賞へと相互に関連性をもたせながら、自主的・創造的・活動的な学習ができるよう工夫している。

年間指導計画例や、教材配当例、検討の観点の詳細は教師用指導書及び音楽之友社HPをご覧ください。